



2024年度 第3四半期 決算報告

2025年2月5日

日清食品ホールディングス株式会社
(証券コード：2897)

決算説明会開催日：2025年2月5日

本日のポイント

既存事業コア営業利益は前期比減益も、社内計画を超過。通期では期初ガイダンス達成を見込む

Point 1 : 2024年度Q3累計実績

- 売上収益は前期比+6%で全事業増収、既存事業コア営業利益は△7%と減益での着地
- 国内即席めん事業：増収（+52億円、+2.5%）・微減益（△1億円、△0.3%）
 - ・2ブランドとも数量増、定番・価格コンシャス商品とも増収モメンタム継続
 - ・コア商品への戦略的な販促に注力したことで、コア営業利益は微減益
- 国内非即席めん事業：増収（+118億円、+8.7%）・増益（+8億円、+6.4%）
 - ・足許では、冷凍・シスコ・湖池屋が大幅増収、事業全体で一桁半ば%の増益
- 海外事業：増収（+153億円、+7.6%）・減益（△42億円、△11.5%）
 - ・トップラインはブラジル事業が牽引し、全ての地域で大幅増収となり、一桁後半%の成長
 - ・米国事業の一部チャンネルでの数量減や米州事業の資材コスト増、持分法マルベンの利益減により減益

Point 2 : 対公表計画の達成を目指す

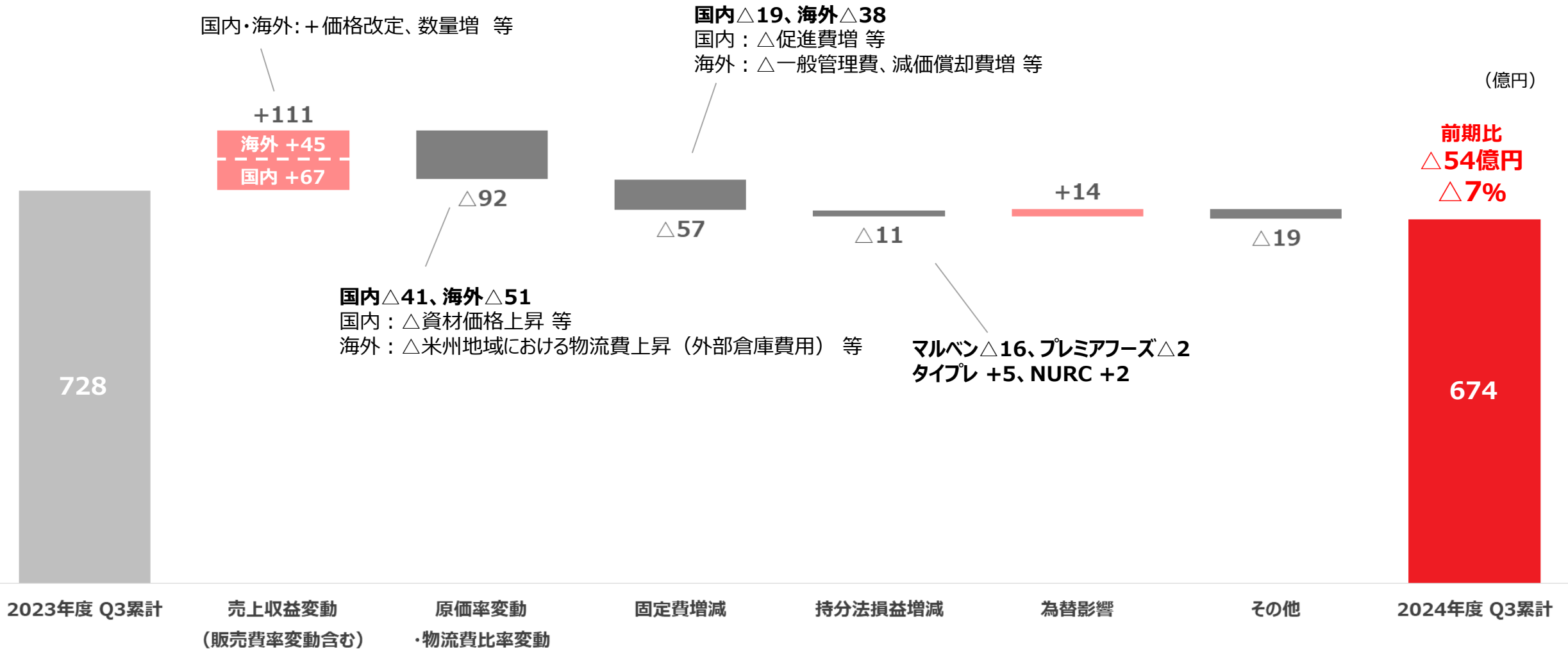
- 売上収益と既存事業コア営業利益とも、Q3累計ベースで計画インライン
- 米国事業の販売数量増トレンドへの回帰及び日清食品のコストコントロール強化により、通期計画の達成を目指す

2024年度 Q3連結決算サマリー

単位：億円	2024年度 Q3累計 決算開示ベース			2024年度 Q3累計 為替一定ベース		
	実績	前期比		実績	前期比	
		増減額	増減率		増減額	増減率
売上収益	5,823	+ 334	+ 6.1%	5,752	+ 263	+ 4.8%
既存事業コア営業利益	674	△ 54	△ 7.4%	660	△ 68	△ 9.3%
営業利益	605	△ 81	△ 11.8%	592	△ 93	△ 13.6%
親会社の所有者に帰属する 四半期利益	436	△ 55	△ 11.2%	426	△ 64	△ 13.1%
既存事業コア営業利益率	11.6%	△ 1.7pt		11.5%	△ 1.8pt	
営業利益率	10.4%	△ 2.1pt		10.3%	△ 2.2pt	
親会社の所有者に帰属する 四半期利益率	7.5%	△ 1.5pt		7.4%	△ 1.5pt	

* 営業利益には、中国大陸における固定資産等に対する減損損失を第3四半期会計期間にて27億円計上した影響を含む

既存事業コア営業利益の増減要因

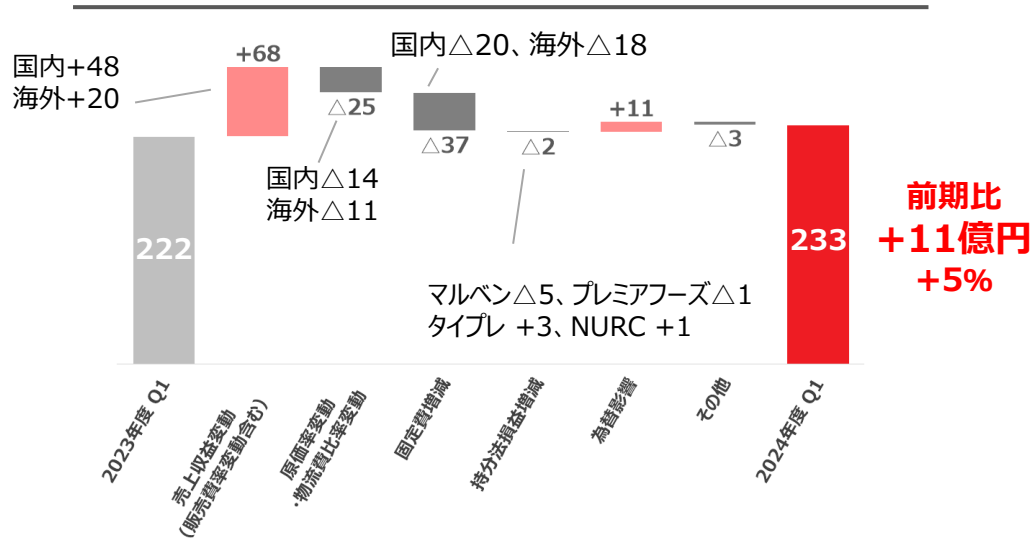


* 細目は前期為替一定ベース

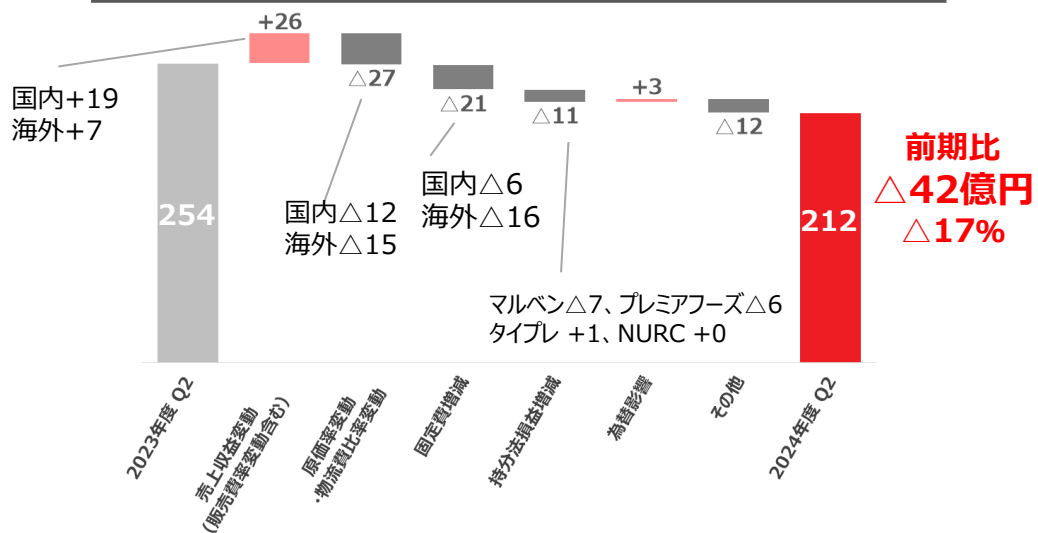
* 国内その他セグメント、その他連結調整及びグループ関連費用のコア営業利益増減は「その他」に含めて表示

既存事業コア営業利益の増減要因～四半期毎

Q1

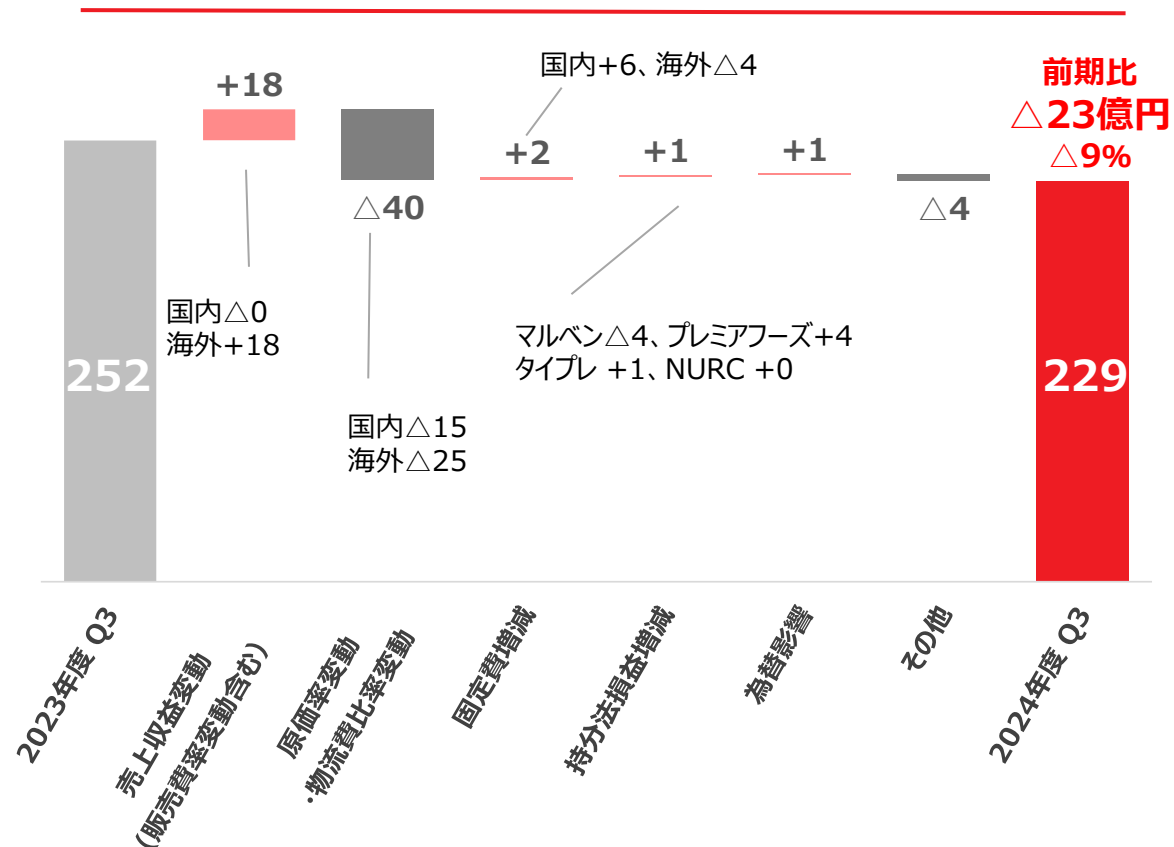


Q2



(億円)

Q3



* 細目は前期為替一定ベース

* 国内その他セグメント、その他連結調整及びグループ関連費用のコア営業利益増減は「その他」に含めて表示

セグメント別 決算サマリー

- 売上収益は前期比+6%成長、全ての事業で増収
- 国内事業はコスト増をカバーし増益、海外事業は米州事業を起因に減益

国内即席めん事業

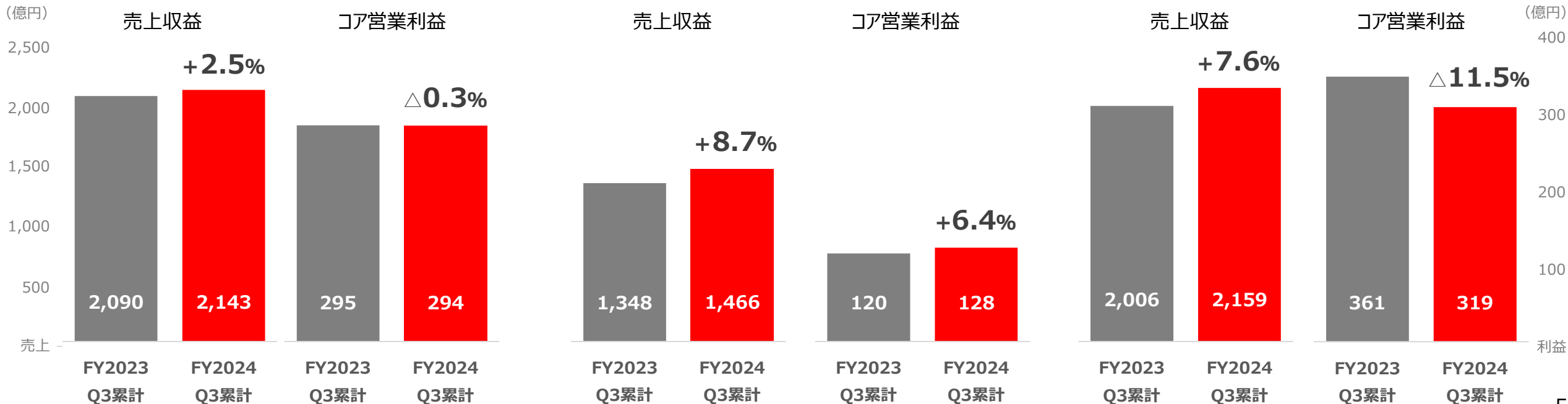
2ブランドとも数量増。日清食品はコア商品と価格コンシャス品とも好調。明星食品も主要ブランド好調により増収。コスト増により微減益

国内非即席めん事業

ヨーク・湖池屋のトップラインが2桁成長。足許では冷凍とシスコも販売好調に推移。価格改定効果もあり、全事業会社で増収。コスト増をカバーし増益

海外事業

ブラジル事業が牽引し、全地域で増収。米州事業の資材コストの増加、米国事業の数量減や持分法マルベンの利益減により減益



セグメント別 売上収益実績

- 全事業増収を達成、好調

単位：億円	2024年度 Q3累計 決算開示ベース			2024年度 Q3累計 為替一定ベース		
	業績	前期比		業績	前期比	
		増減額	増減率		増減額	増減率
日清食品	1,801	+ 30	+ 1.7%	1,801	+ 30	+ 1.7%
明星食品	341	+ 22	+ 6.8%	341	+ 22	+ 6.8%
国内即席めん事業	2,143	+ 52	+ 2.5%	2,143	+ 52	+ 2.5%
低温・飲料事業	768	+ 52	+ 7.3%	768	+ 52	+ 7.3%
菓子事業	698	+ 65	+ 10.3%	698	+ 65	+ 10.3%
国内非即席めん事業	1,466	+ 118	+ 8.7%	1,466	+ 118	+ 8.7%
国内その他	56	+ 11	+ 23.7%	56	+ 11	+ 23.7%
国内事業 計	3,664	+ 180	+ 5.2%	3,664	+ 180	+ 5.2%
米州地域	1,256	+ 64	+ 5.4%	1,237	+ 45	+ 3.8%
中国地域	535	+ 47	+ 9.6%	504	+ 15	+ 3.1%
アジア地域	176	+ 19	+ 12.4%	166	+ 10	+ 6.3%
EMEA地域	192	+ 23	+ 13.5%	181	+ 12	+ 7.4%
海外事業 計	2,159	+ 153	+ 7.6%	2,088	+ 83	+ 4.1%
連結 計	5,823	+ 334	+ 6.1%	5,752	+ 263	+ 4.8%

* 中国地域の実績は、日清食品 HD の連結方針に基づく

* 「国内その他」には新規事業も含む

セグメント別 コア営業利益実績

- 米国での先行投資及び欧州持分法会社の減益を主因に減益

単位：億円	2024年度 Q3累計 決算開示ベース					2024年度 Q3累計 為替一定ベース		
	営業利益	その他 収支	コア営業利益	前期比		コア営業利益	前期比	
				増減額	増減率		増減額	増減率
日清食品	267	1	266	△ 5	△ 2.0%	266	△ 5	△ 2.0%
明星食品	28	1	28	+ 4	+ 19.2%	28	+ 4	+ 19.2%
国内即席めん事業	295	2	294	△ 1	△ 0.3%	294	△ 1	△ 0.3%
低温・飲料事業	75	1	74	+ 2	+ 2.1%	74	+ 2	+ 2.1%
菓子事業	50	△ 3	54	+ 6	+ 13.1%	54	+ 6	+ 13.1%
国内非即席めん事業	125	△ 3	128	+ 8	+ 6.4%	128	+ 8	+ 6.4%
国内その他	10	0	10	△ 2	△ 19.9%	10	△ 2	△ 19.9%
国内事業 計	430	△ 1	431	+ 4	+ 1.0%	431	+ 4	+ 1.0%
米州地域	145	△ 0	145	△ 36	△ 20.1%	141	△ 40	△ 22.2%
中国地域	28	△ 25	54	+ 0	+ 0.2%	51	△ 3	△ 5.6%
アジア地域	64	0	64	+ 11	+ 20.0%	60	+ 7	+ 13.1%
EMEA地域	56	△ 1	57	△ 16	△ 21.8%	54	△ 19	△ 26.6%
海外事業 計	293	△ 26	319	△ 42	△ 11.5%	305	△ 56	△ 15.4%
国内・海外事業 計	723	△ 27	750	△ 37	△ 4.7%	736	△ 51	△ 6.5%
その他連結調整	△ 2	△ 0	△ 2	△ 1	-	△ 2	△ 1	-
グループ関連費用	△ 74	-	△ 74	△ 15	-	△ 74	△ 15	-
既存事業 計	647	△ 27	674	△ 54	△ 7.4%	660	△ 68	△ 9.3%
新規事業	△ 42	△ 0	△ 42	△ 3	-	△ 42	△ 3	-
連結 計	605	△ 27	632	△ 57	△ 8.2%	618	△ 71	△ 10.3%

* 中国地域の実績は、日清食品 HD の連結方針に基づく

* 中国地域の営業利益は、主に中国大陸において固定資産等に対する減損損失を27億円計上したことにより減益

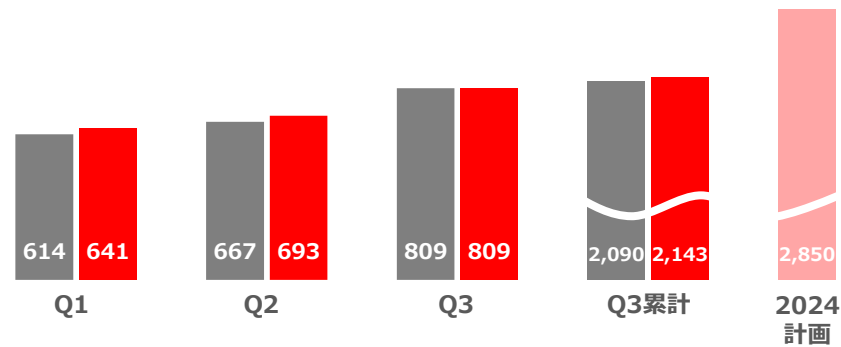
事業の状況

国内即席めん事業

- コアブランドが好調に推移するも、資材価格等上昇などもあり微減益

売上収益 (億円)

■ 前期 ■ 当期



日清食品 (Q3累計 +2%)

カップめん：「カップヌードル」「日清のどん兵衛」「日清焼そば U.F.O.」ブランドなど主力商品の売上が堅調に推移。加えて新商品「日清の利きどん兵衛」シリーズや「カップヌードル」「クセ旨」シリーズ冬季限定商品が売上に貢献

袋めん：新商品「日清ラ王 3食パック」が順調に推移

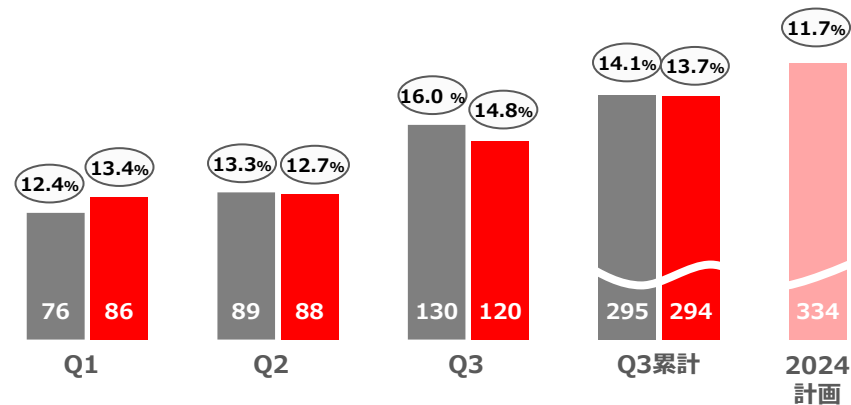
明星食品 (Q3累計 +7%)

カップめん：「一平ちゃん夜店の焼そば」「ぶぶか油そば」が伸長

袋めん：「チャルメラ」が引き続き好調を維持

コア営業利益 (億円)

%：コア営業利益率



日清食品 (Q3累計 △2%)

- +) 売上増加による利益増
- △) 資材価格及び物流費の上昇等

明星食品 (Q3累計+19%)

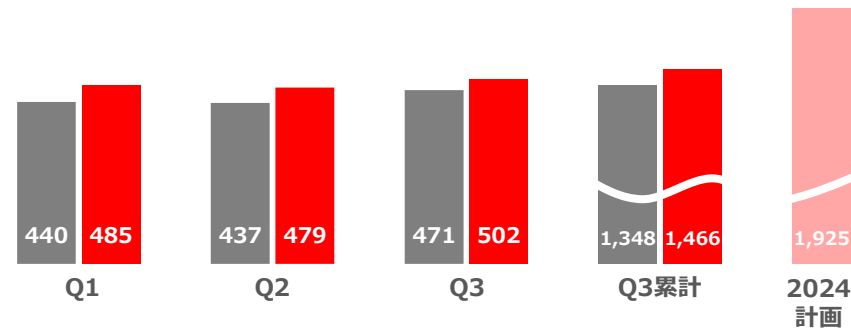
- +) 売上増加による利益増
- △) 資材価格の上昇等

国内非即席めん事業

- 「ピルクル400」が好調な日清ヨーク、高付加価値商品が好調な湖池屋、シリアルが好調な日清シスコが貢献。資材価格およびマーケティング費用増加の影響あるも、事業全体で増益

売上収益 (億円)

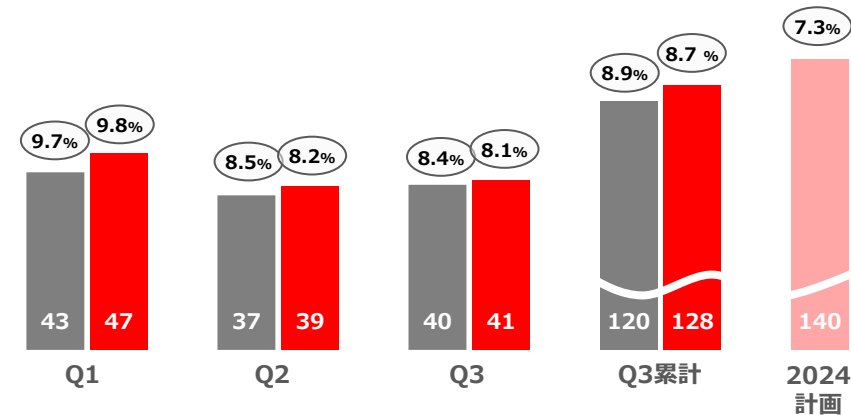
■ 前期 ■ 当期



- チルド** Q3累計 +4% : 新商品「チルド 日清焼そばU.F.O.」貢献、「名店シリーズ」、「麺の達人」も好調
- 冷凍** Q3累計 +5% : 新商品「冷凍 日清スパ王喫茶店」が貢献、「冷凍 日清中華 汁なし担々麺」も好調
- ヨーク** Q3累計 +15% : 「ピルクル400」シリーズ、「十勝のむヨーグルト」シリーズが好調
- シスコ** Q3累計 +9% : 「シスコーン」シリーズ、「ごろグラ」シリーズなどシリアルが好調
- ぼんち** Q3累計 +9% : 「ぼんち揚」「ポンスケ」等のファミリーパックやバリュープライスアイテムが好調
- 湖池屋** Q3累計 +11% : 「湖池屋プライドポテト」シリーズが好調、価格改定効果も増収に寄与

コア営業利益 (億円)

% : コア営業利益率



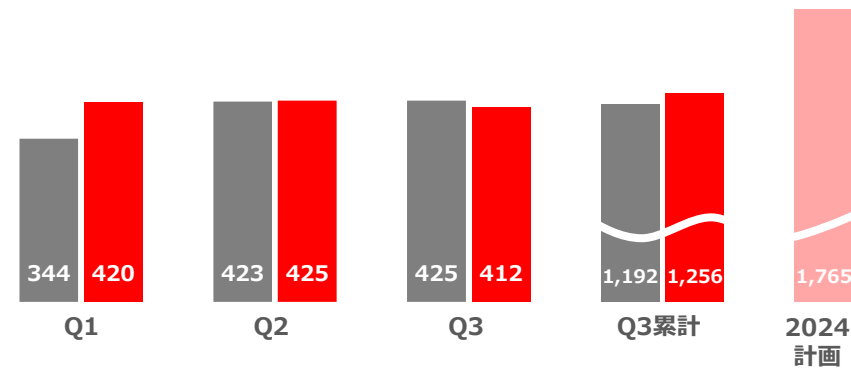
- チルド** Q3累計 減益 : 売上増加も原価率上昇等により減益
- 冷凍** Q3累計 増益 : 資材価格等上昇も売上増加により増益
- ヨーク** Q3累計 増益 : 資材価格等上昇も売上増加により増益
- シスコ** Q3累計 増益 : 資材価格等上昇も価格改定等により増益
- ぼんち** Q3累計 増益 : 資材価格等上昇も売上増加等により増益
- 湖池屋** Q3累計 増益 : 資材価格上昇や広告宣伝費増も、価格改定効果や海外事業の収益改善により増益

米州地域

- 米国の販売食数減を、生産回復が順調に進むブラジルがカバーし、Q3累計で増収。費用増加により、減益

売上収益 (億円)

■ 前期 ■ 当期



米国 : Q3累計 販売施策を強化するも一部エリアの店舗において数量減。為替影響もあり円貨ベースでは増収(為替影響 +42億円)

メキシコ : Q3累計 価格改定効果などあるも輸出向け数量減の影響により減収(為替影響 △1億円)

ブラジル : Q3累計 生産体制強化に伴い生産数量回復。増収 (為替影響△22億円)

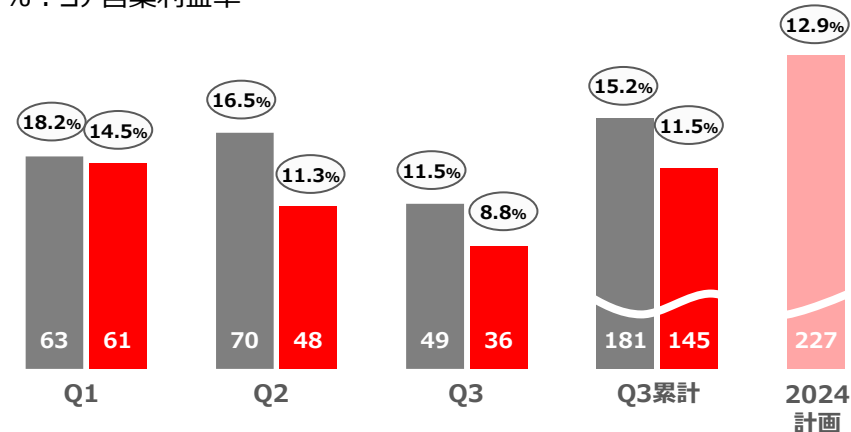
Q3 YoY

YTD YoY

	売上収益 (前期為替一定ベース)	数量	売上収益 (前期為替一定ベース)	数量
米国	△8%	△1桁後半%	△1%	△1桁前半%
メキシコ	△2%	△2桁前半%	△2%	△1桁後半%
ブラジル	+18%	+2桁前半%	+14%	+1桁後半%

コア営業利益 (億円)

% : コア営業利益率



米国 : Q3累計 減益
数量減、物流費・原材料費用増加に伴い減益(為替影響 +6億円)

メキシコ : Q3累計 減益
主に輸出向け販売数量減の影響が大きく、減益(為替影響 △0億円)

ブラジル : Q3累計 減益
数量増も原材料コスト増の影響に伴い減益(為替影響 △2億円)

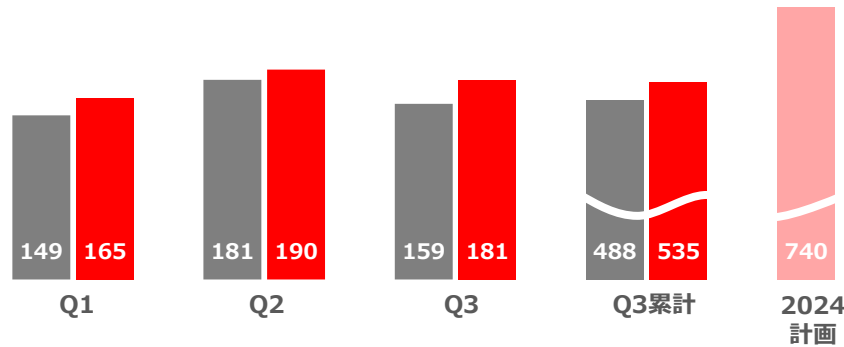
・ 米国の売上収益の増減は、米国日清、明星USAの合計
* 数量は管理ベースで記載

中国地域

- セグメント全体で増収増益、大陸のカップめんが売上を牽引、香港の主力袋めんも回復傾向

売上収益 (億円)

■ 前期 ■ 当期



香港他 : Q3累計 袋めんの販売数量回復に伴い、数量前期比は1桁前半%の増加
新規連結の純増も売上増に貢献 (為替影響 +13億円)

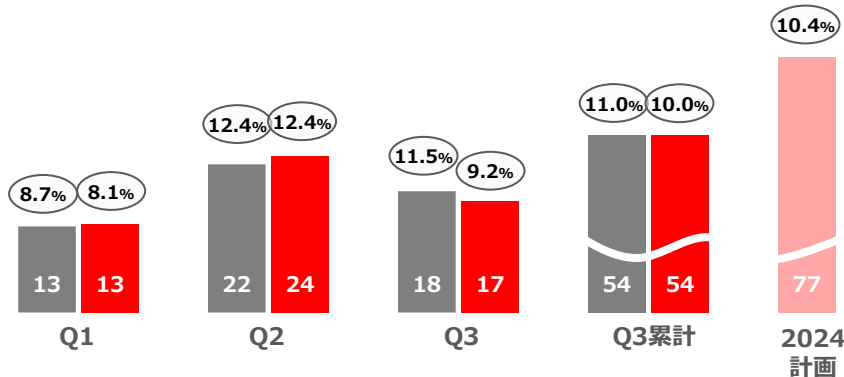
大陸 : Q3累計 販売数量増に伴い増収 (為替影響 +18億円)
主力のカップめんの販売数量は内陸エリアへの販路拡大により改善

YTD YoY

	売上収益 (前期為替一定ベース)	数量*
香港他	+4%	+1桁前半%
大陸	+3%	+1桁半ば%

コア営業利益 (億円)

% : コア営業利益率



香港他 : Q3累計 増益

新規連結の純増に加え、即席めん事業も償却負担をカバーし増益 (為替影響 +1億円)

大陸 : Q3累計 減益

カップめんの販売数量増も資材価格上昇に伴い減益 (為替影響 +2億円)

* 数量は香港・大陸の管理ベースで記載
 ** 中国地域の実績は、日清食品 HD の連結方針に基づくもの
 *** 香港他にはベトナム事業 等を含む
 9月より「Gaemi Food」を連結子会社化し、韓国におけるスナック事業を開始
 12月より「ABC Pastry」を連結子会社化し、オーストラリアにおける冷凍食品事業を開始
 **** 中国地域の営業利益は、主に中国大陸において固定資産等に対する減損損失を27億円計上したことにより減益

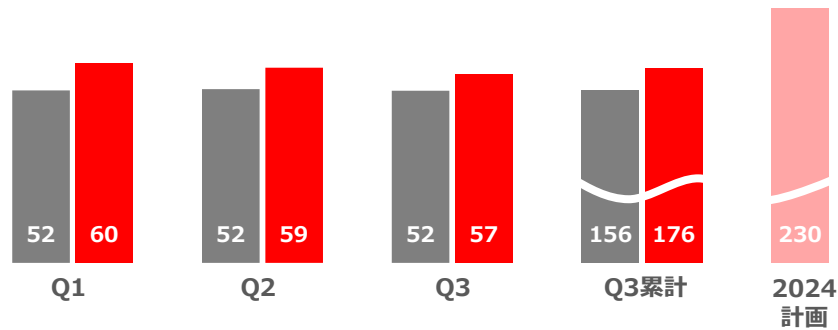
アジア地域

- 持分法損益も貢献し、アジア全体で増収増益。タイでは高付加価値袋めんが好調に推移

売上収益 (億円)

■ 前期 ■ 当期

売上額が多い順

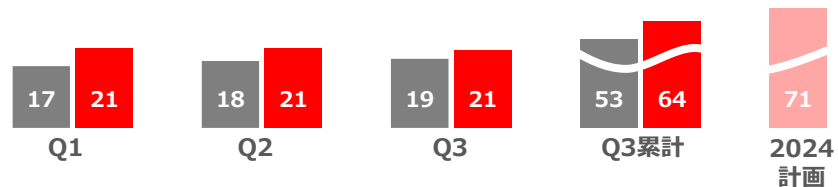


- タイ : Q3累計 増収 (為替影響 +4億円)
- インド : Q3累計 増収 (為替影響 +3億円)
- シンガポール : Q3累計 増収 (為替影響 +2億円)
- インドネシア* : Q3累計 増収 (為替影響 +1億円)

コア営業利益 (億円)

% : コア営業利益率

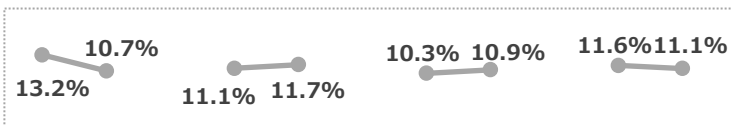
利益額が多い順 (持分法適用会社除く)



- タイ : Q3累計 増益 (為替影響 +0.7億円)
- シンガポール : Q3累計 減益 (為替影響 +0.3億円)
- インドネシア* : Q3累計 増益 (為替影響 +0.1億円)
- インド : Q3累計 減益 (為替影響 +0.0億円)

* 持分法損益含まないコア営業利益率

持分法による投資損益



- タイプレ : Q3累計 28億円 (YoY:+6億円 (為替影響 +1.5億円))
- NURC : Q3累計 16億円 (YoY:+3億円 (為替影響 +1.0億円))

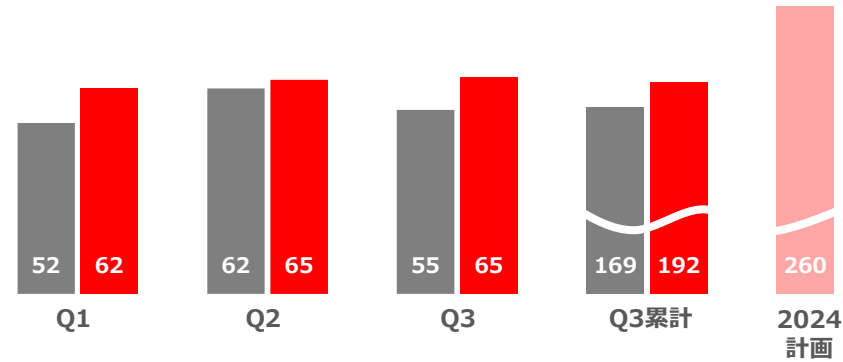
* マレーシア事業含む

EMEA地域

- 成長著しい即席めん市場において、欧州日清は増収トレンド継続。持分法マルベンの利益減を主因に減益

売上収益 (億円)

■ 前期 ■ 当期

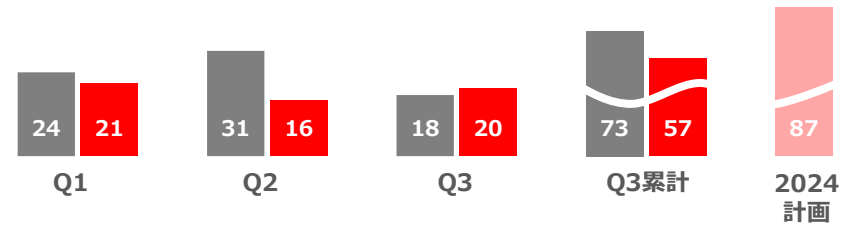


欧州：Q3累計 増収 (為替影響 +10 億円)

- 主要3ブランド「Cup Noodles」「Soba」「Demae Ramen」とも好調に推移
- イギリスを中心に増収

コア営業利益 (億円)

% : コア営業利益率



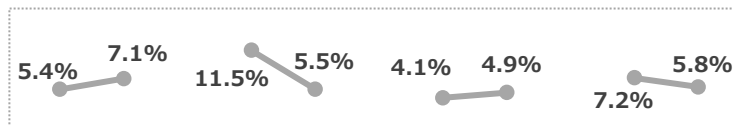
欧州：Q3累計 減益 (為替影響 +0億円)

持分法による投資損益

マルベン：Q3累計 16億円 (YoY:△16億円 (為替影響△0億円))

プレミアフーズ：Q3累計 30億円 (YoY:+1億円 (為替影響 +3億円))

* 持分法損益含まないコア営業利益率



Appendix

2024年度 通期連結業績計画

- 売上収益は2023年度比+7.1%、既存事業コア営業利益は2023年度比+5.0%、846億円を計画
- 売上収益、各段階利益とも過去最高更新を目指す

売上収益	7,850 億円	2023年度比 +7.1%
------	----------	------------------

Mid-single Digitでの成長を継続

既存事業コア営業利益	846 億円	+5.0%
------------	--------	-------

新規事業投資を既存事業コア営業利益5~10%で実施

営業利益	760 ~ 800 億円	+3.6~+9.0%
親会社の所有者に帰属する 当期利益	545 ~ 575 億円	+0.6~+6.1%
EPS	179 ~ 189 円/株	

* 計画に係る円表示数値は全て23年度実績レート

2024年度 セグメント別計画

(単位：億円)	2024年度 予想	売上収益 (IFRS)			コア営業利益 (Non-GAAP)			
		2023年度		2023年度比	2024年度 予想	2023年度		2023年度比
		売上収益				コア営業利益		
日清食品	2,415	2,322	+ 93	+ 4.0%	305	295	+ 10	+ 3.2%
明星食品	435	435	+ 0	+ 0.1%	29	27	+ 2	+ 5.9%
即席めん事業	2,850	2,757	+ 93	+ 3.4%	334	323	+ 11	+ 3.4%
低温・飲料事業	1,010	952	+ 58	+ 6.1%	85	77	+ 8	+ 10.4%
菓子事業	915	852	+ 63	+ 7.5%	55	49	+ 6	+ 11.5%
非即席めん事業	1,925	1,804	+ 121	+ 6.7%	140	126	+ 14	+ 10.8%
国内その他	80	61	+ 19	+ 31.5%	9	△ 21	+ 30	-
国内 計	4,855	4,621	+ 234	+ 5.1%	483	428	+ 55	+ 12.9%
米州地域	1,765	1,603	+ 162	+ 10.1%	227	215	+ 12	+ 5.4%
中国地域	740	665	+ 75	+ 11.4%	77	81	△ 4	△ 4.4%
アジア地域	230	207	+ 23	+ 11.0%	71	66	+ 5	+ 8.3%
EMEA地域	260	233	+ 27	+ 11.6%	87	95	△ 8	△ 8.9%
海外 計	2,995	2,708	+ 287	+ 10.6%	462	457	+ 5	+ 1.1%
国内・海外 計	7,850	7,329	+ 521	+ 7.1%	945	885	+ 60	+ 6.8%
その他連結調整	-	-	-	-	△ 99	△ 0	△ 20	-
グループ関連費用	-	-	-	-		△ 78		
既存事業 計	7,850	7,329	+ 521	+ 7.1%	846	806	+ 40	+ 5.0%
新規事業	-	-	-	-	△ 80 ~ △ 40	△ 62	△ 18 ~ + 22	- -
連結 計	7,850	7,329	+ 521	+ 7.1%	766 ~ 806	744	+ 22 ~ + 62	+ 2.9% ~ + 8.3%

* 中国地域の戦略、それに基づく各種目標ならびに業績計画数値は、日清食品HDが独自に設定したものの

米州地域および海外地域全体の売上収益・数量 前期比

ベース商品 : +1桁前半%
プレミアム商品 : +10%台

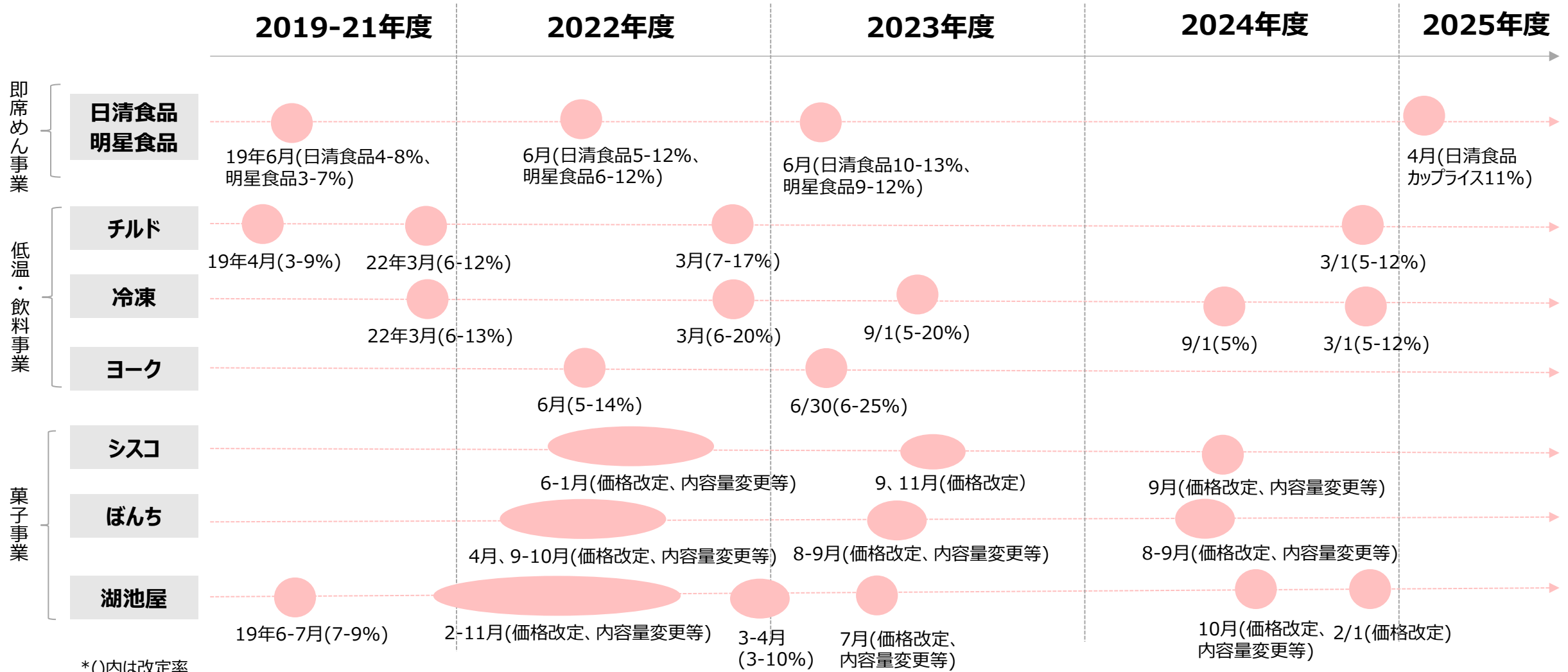
2023年度

2024年度

YoY	Q3(10-12月)		Q4(1-3月)		Q1(4-6月)		Q2(7-9月)		Q3(10-12月)		2024年度 適期計画	
	売上収益 前期為替一定 ベース	数量	売上収益 前期為替一定 ベース	数量	売上収益 前期為替一定 ベース	数量	売上収益 前期為替一定 ベース	数量	売上収益 前期為替一定 ベース	数量	売上収益 前期為替一定 ベース	数量
米国	△1%	+1桁前半%	+0%	+1桁後半%	+1%	+1桁前半%	+4%	+1桁前半%	△8%	△1桁後半%	+1桁半ば%	+1桁半ば%
メキシコ	+19%	+2桁前半%	+14%	+2桁前半%	△6%	△10%台	+0%	△1桁半ば%	△2%	△2桁前半%	+10%台	+10%台
ブラジル	+2%	△1桁後半%	△2%	△2桁前半%	+31%	+20%台	+0%	△1桁半ば%	+18%	+2桁前半%	+10%台	+10%台
海外全体	△0%	△1桁前半%	+1%	横ばい圏	+6%	+1桁後半%	+2%	横ばい圏	+4%	+1桁前半%	+11%	+10%台

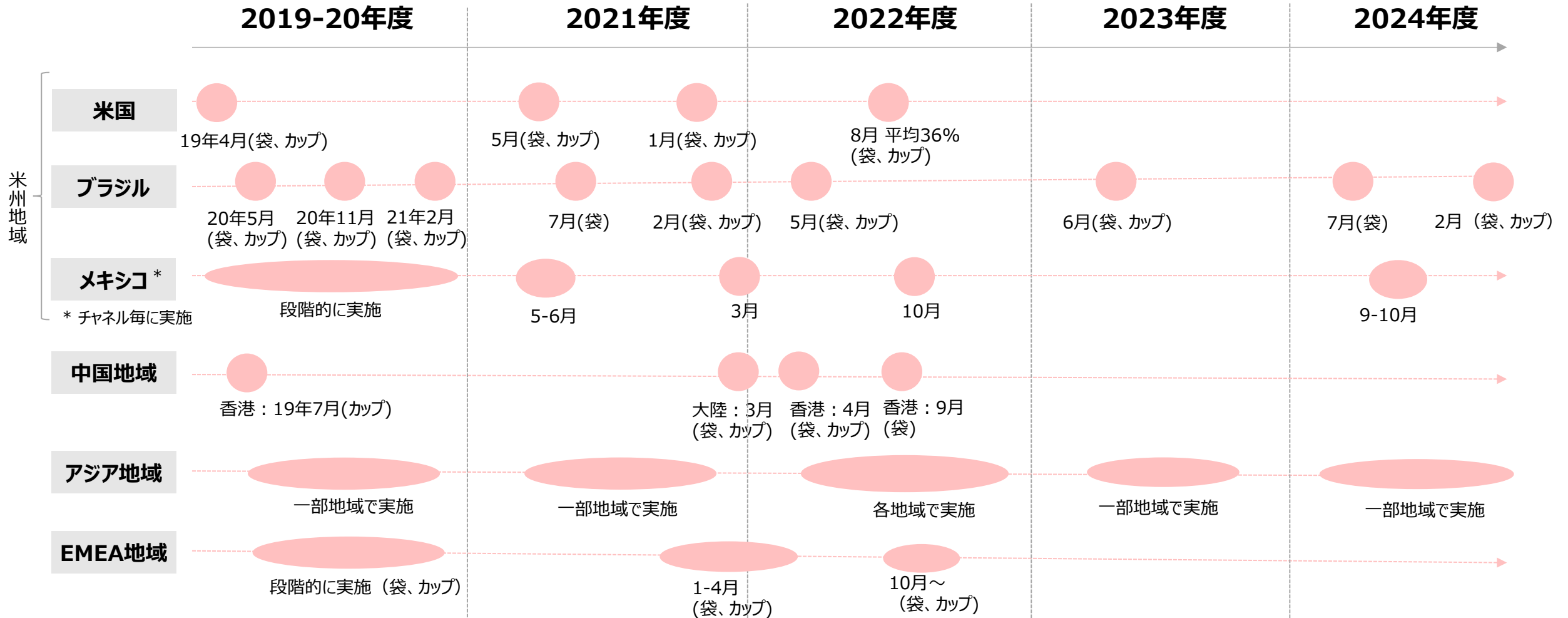
* 数量は管理ベースで記載
* 米国の売上収益の増減は、米国日清、明星USAの合計

主な価格改定推移 (国内)



*()内は改定率
*2025年2月時点

主な価格改定推移 (海外)



*2025年2月時点

本資料に掲載しております当社グループの計画及び業績の見通し、戦略などは、発表日時点において把握できる情報から得られた当社の経営判断に基づいています。あくまでも将来の予測であり、「市場における価格競争の激化」、「事業環境をとりまく経済動向の変動」、「為替の変動」、「資本市場における相場的大幅な変動」他、様々なリスク及び不確定要因により、実際の業績と異なる可能性がございますことを、予めご承知おきください。

また、本資料は投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。銘柄の選択、投資の最終決定は、ご自身の判断でなさっていただきますようお願い申し上げます。

- このプレゼンテーション資料は、PDF形式で当社ウェブサイト「決算短信・補足資料・決算説明会関連資料」に掲載しています
<https://www.nissin.com/jp/ir/library/>
- この資料の金額は、千円単位で算出し、億円単位未満を四捨五入して表示しているため、内訳と合計金額等が一致しない場合があります
- 当該資料の決算期は原則として、20YY年4月1日からの1年間を「20YY年度」または「YY年度」とします
- 中国地域の実績は、日清食品ホールディングス連結の方針に基づくもので、香港日清の開示とは異なる可能性があります。また、中国地域の戦略、それに基づく各種目標ならびに業績予想は日清食品ホールディングスが独自に設定したものです



日清食品ホールディングス株式会社